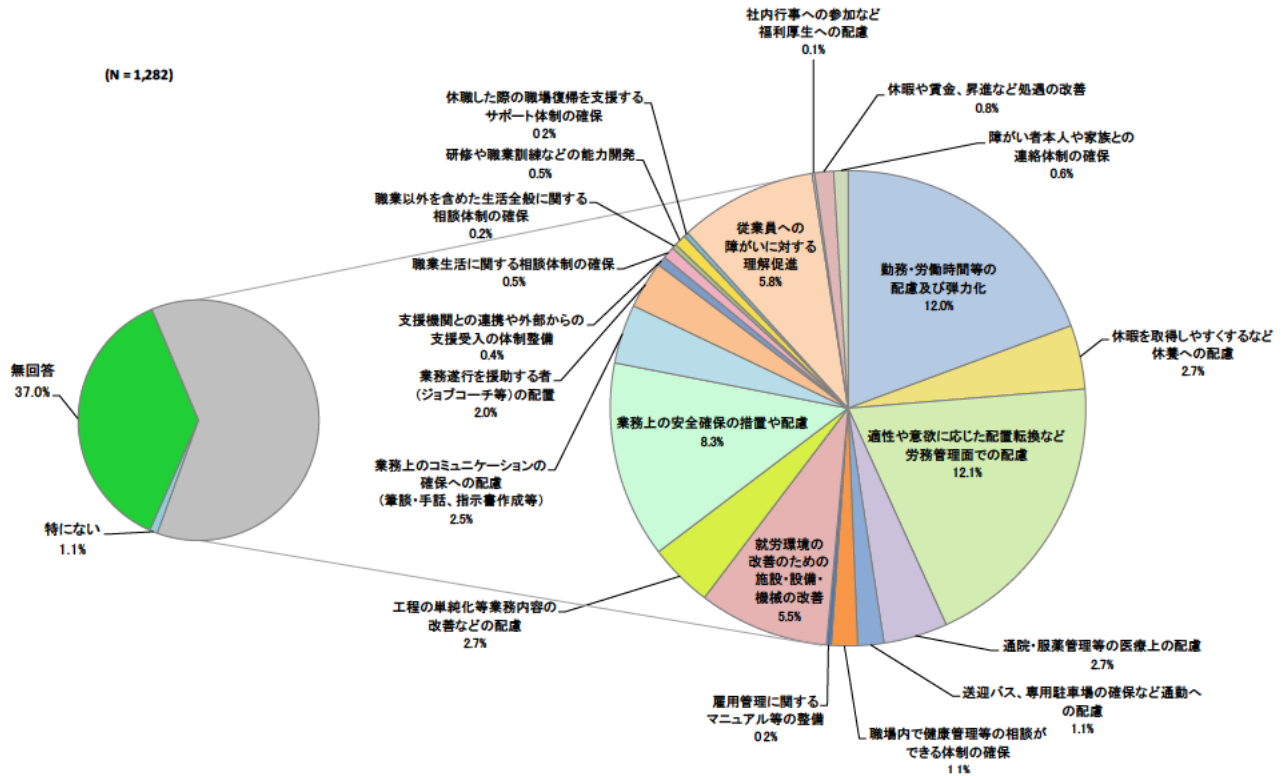


(20) 障がい者の職場定着における効果的な配慮事項

問 23 問 22 のうち障がい者の職場定着に最も効果があると考えられる配慮事項を障がい等の種類別に1つお答えください。なお、回答は問 22 の番号を下表に記入してください。

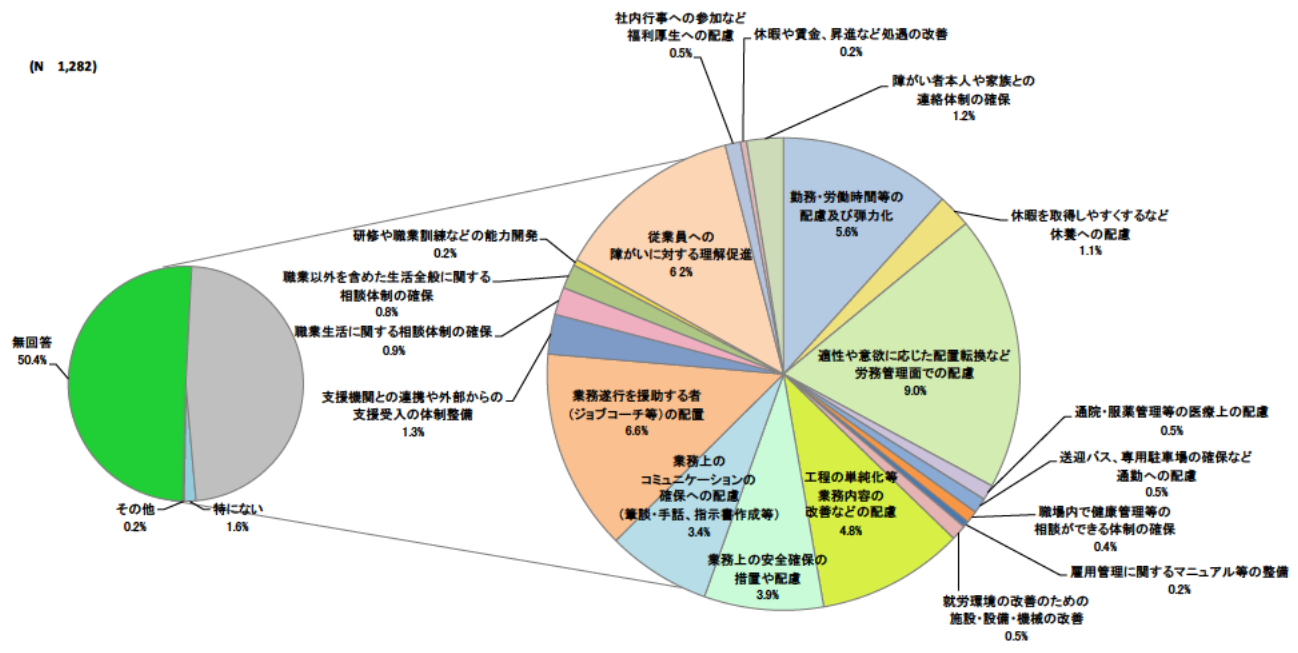
①身体障がい者

「適性や意欲に応じた配置転換など労務管理面での配慮」が12.1%と最も高く、次いで「勤務・労働時間等の配慮及び弾力化」が12.0%、「業務上の安全確保の措置や配慮」が8.3%となっている。



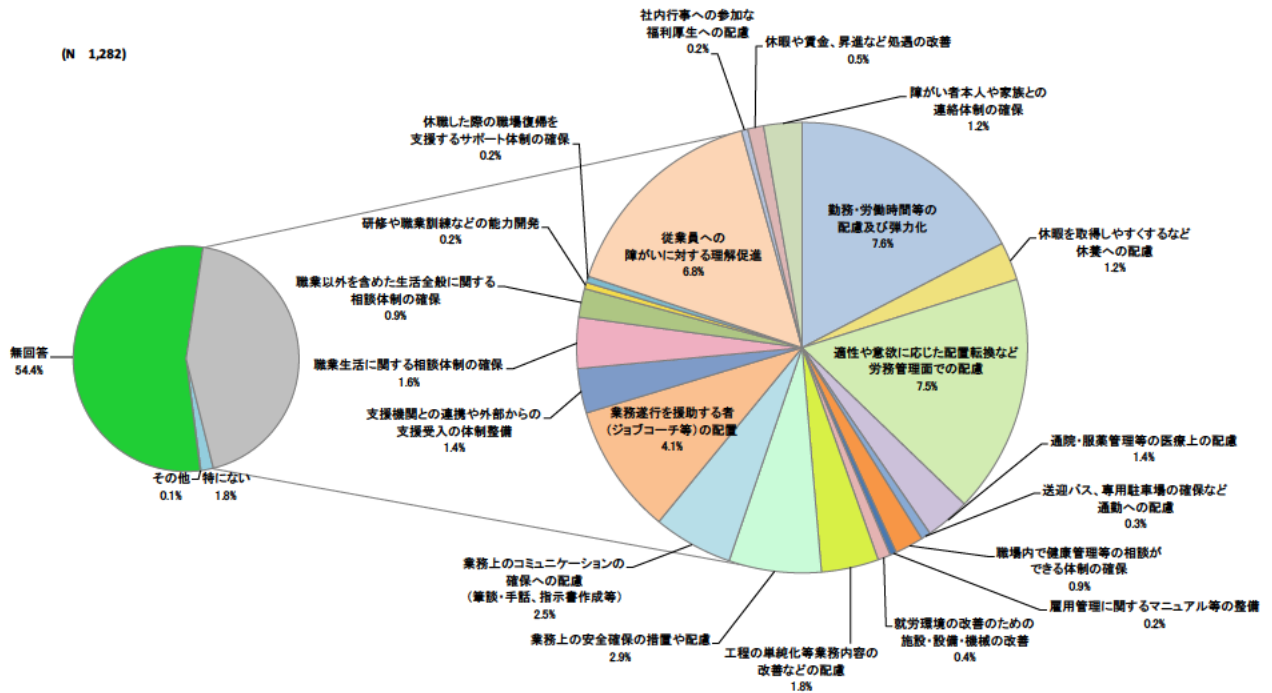
②知的障がい者

「適性や意欲に応じた配置転換など労務管理面での配慮」が9.0%と最も高く、次いで「業務遂行を援助する者(ジョブコーチ等)の配置」が6.6%、「従業員への障がいに対する理解促進」が6.2%となっている。



### ③精神障がい者

「勤務・労働時間等の配慮及び弾力化」が7.6%と最も高く、次いで「適性や意欲に応じた配置転換など労務管理面での配慮」が7.5%、「従業員への障がいに対する理解促進」が6.8%となっている。



### ④その他の障がい者等

「適性や意欲に応じた配置転換など労務管理面での配慮」が6.8%と最も高く、次いで「勤務・労働時間等の配慮及び弾力化」が5.5%、「従業員への障がいに対する理解促進」が5.2%となっている。

